しごと部会

2024年10月29日 報告

西村　弘文（特定非営利活動法人サポート歓）
上田　壮広（社会福祉法人とよおか福祉会）
衣川　勝海（NPO法人ぷろじぇくとPlus）
上﨑　良純（非営利活動法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク）
南　克伸（兵庫県立出石特別支援学校）
佐藤　杏南（豊岡市社会福祉協議会）
岡森　吉彦（豊岡市社会福祉課）
中嶋　亮　（豊岡市社会福祉課）

しごと部会が目指すもの

- 企業や地域から出る仕事・作業に関するニーズを集約し、仕事・作業がしたい障害者やひきこもり、生活困窮者につなげる仕組みづくりを検討する

・より工賃の高い作業を見つけたい
・利用者に合った作業を受注したい
・長時間働くのはあまり自信がない
・自宅や空き家の管理、片付けに困っている
・得意な仕事があるけど生かす機会がない
・働き手が見つからなくて困っている

→

（仮称）
しごとセンター
の設立

→

・障害者の工賃向上
・授産作業メニューの拡大
・就労の機会の増加
・就労選択の幅の増加
超短時間就労、在宅ワークなど
・地域の困りごとの解消
除雪、除草、農作業、掃除、買い物等
・企業の働き手の確保

2024年度　前期の取り組み

①（仮称）しごとセンター設立に対して

- 既存の社会資源で対応できないかを協議（詳細は次ページ）

②（仮称）しごとセンターのニーズ調査の準備等

- 社会調査の方法についてオンラインで協議

  アドバイザー：田垣先生

- 支援者、当事者、企業向けアンケート内容の検討

③　役務作業（清掃）の情報共有

2024年度　前期の取り組み

しごとセンターの機能概要

①　就労系事業所への請負業務コーディネート

企業、地域、行政等から就労系事業所へ依頼したい業務をセンターが開拓・集約。

市内各事業所の希望、体制等に応じて請負先を調整。

→就労系事業所の支援方針や利用者に合わせた作業内容を調整可能、事業所の負担軽減、
市内の人手不足解消

②　対象者個人への作業等マッチング

登録者個人の就労に関する希望や実情に応じた作業等をマッチングする。

→対象者の就労機会の増加、工賃向上、自己理解が深まり就労への意欲醸成

2024年度　前期の取り組み

しごとセンターの新規設立が必要な要因

対象者

一般就労に行かない（行けない）人
- 障害受容がない
- コミュニケーションに不安
- 就労が続かない

解決したい課題

- 人手不足かつ求職者不足
- 就B事業所単体では、企業や地域からの就労ニーズのコーディネートや作業の選択幅を拡げることが困難
- 就労支援に時間がかかる

既存　ハローワーク 就ポツ

△
- 「障害者」の表記にハードル有
- いきなりの雇用契約に不安
- 一般就労のレベルに達していない
- 就労が継続できない

新規　しごとセンター

○
- 対象は障害者に限定しない
- まずは軽作業等を短時間から経験可
- 経験から自己理解、能力を向上
- 自分に合った就労スタイルが見つかる

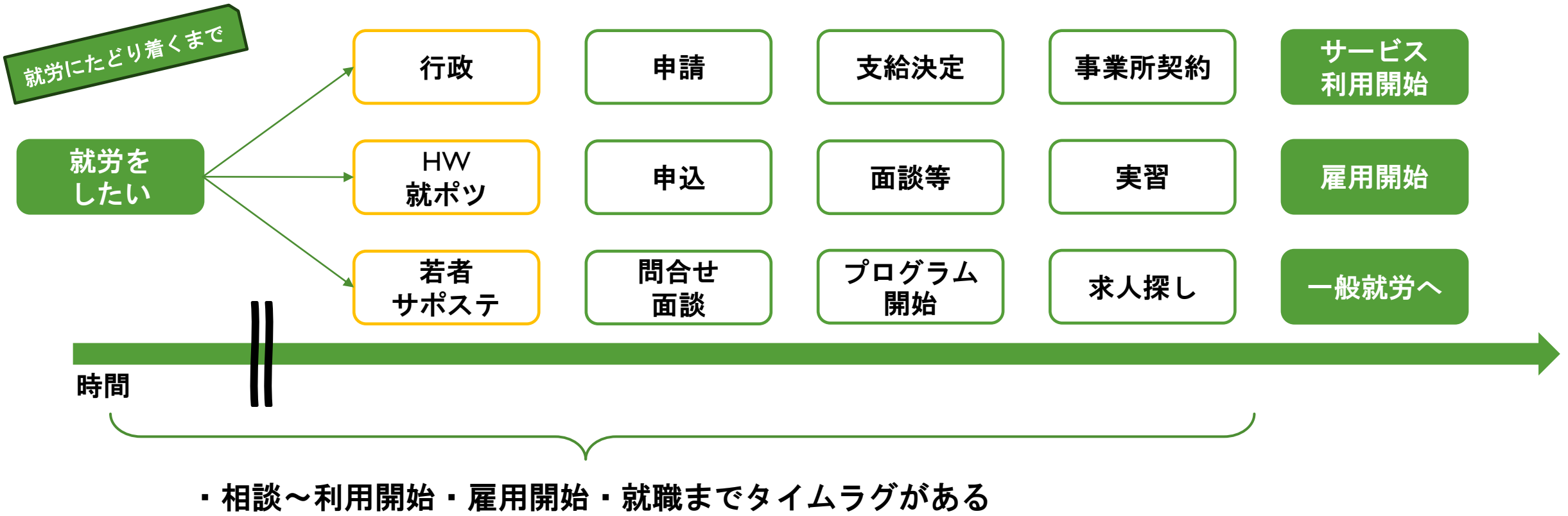
○
- 豊岡市独自の専門機関
- 超短時間雇用、軽作業などの個別ニーズ対応等必要な機能を検討可能

既存　兵庫セルプ

△
- 但馬地域での仕事紹介が減少傾向
- 県内1か所の機関で細かな就労ニーズの集約は難しい

※必要に応じて障害福祉サービスや若サポを紹介

2024年度　前期の取り組み



・相談～利用開始・雇用開始・就職までタイムラグがある

2024年度　後期の取り組み

① （仮称）しごとセンターの機能、対象、運営方法などを協議

- 支援者向けアンケート内容、実施方法の検討など

② 既存の就労支援機関の機能と現状の整理

③ 超短時間雇用と（仮称）しごとセンターの連携について